

**令和8年度スタート**

入学式・対面式を無事終えて、3学年が全員揃っての新年度が始まりました。鹿児島中央高校進路指導部では、毎月の「進路指導室だより」をとおして、みなさんに進路に関する様々な情報を提供していきます。また、不定期ではありますが、各学年が必要とする進路情報も学校・学年のクラスルームで流しますので、こちらも是非、時間があるときに目をとおして下さい。

さて、みなさんは「最高学府」という言葉をご存じでしょうか？最高学府とはある地域や分野で最も高い水準の教育・研究を行う学校や教育機関のことで、鹿児島県では「鹿児島大学」がそれに当たります。今回は、その鹿児島大学の学長が述べた入学式での告示を紹介したいと思います。理由は先ほど述べたように、鹿児島県の最高学府であることと、本校の卒業生が最も多く進学している大学だからです。告示は鹿児島大学のホームページに掲載されていますので、興味のある人は是非、覗いてみて下さい。さらに自分が希望する大学がイメージできている人は、その大学の学長の入学式のメッセージ（大学によっては学部長のメッセージがある大学もあります。）に目をとおしておくことをお勧めします。志望理由を書く際の大きなヒントがそこには沢山あるからです。少し前置きが長くなりました。以下一部を引用します。

さて、皆さんの中には鹿児島大学が第一志望ではなかった方もおられるかも知れません。しかし、そのことを理由に大学生生活を空虚に過ごして欲しくないと思います。もし、何かに未練があったら、過去を振り返る気持ちが強いのなら、今日で終わりにしてもらいたいと切に願います。悔しい思い、落ち込んだ経験は、何度でも挑戦したり、切り替えたりできる力を身につけることにつながります。自分の心の中に未練などがある方は、それを「バネ」にして欲しいからです。ずっと思い通りに、人生を歩める人はそう多くいません。今日から始まる大学生活が、とても大切な時間なのです。しっかり勉強して、卒業するときは顔を上げ、自信をもって卒業して欲しいと思っています。

このメッセージには、中央高校生にも当てはまる要素があると思います。高校入試で志望を変更した、あるいはクラス替えで自分が思うクラスと違った。現時点で納得いかない部分もあるかも知れませんが、少なくともその決定には自分の意思も反映されていたはずで、そう

であるならば新しい環境で、自分の決定が正しかったことを証明するための毎日を、過ごした方が絶対いいに決まっています。終わったことをあれこれ後悔する時間で、自分を一步押し出せるからです。さらに一部引用します。

皆さん一人ひとり、自分と同じ人間は誰ひとりいません。その違った部分について、より尊重するためには、相手をより理解しようと努力し、また、自分のことを理解してもらおうとする努力が必要です。異なる人と書く「異人」は、過去には「外国人」をさす差別的な言葉として使われた時代もありますが、国際社会を生きる皆さんには、人と人の繋がりという観点で、「いじん」という時には、偉大の「偉」、優れたという意味の「偉人」という言葉を使ってもらいたいと思います。

ご存じのとおり、中央高校のある加治屋町は薩摩の偉人を数多く輩出した場所です。この場所で学ぶことを自分への使命だと思い、お互い「和して同ずる」ことなく共励切磋していきましょう。

< R7 鹿児島中央 主な国公立4年制大学合格実績 (既卒含) >

大	学	名	R7	R6	R5
東	北	大			1
筑	波	大	1		1
東	京	大			1
東	京	学	1		1
京	都	大			1
神	戸	大	1		1
広	島	大	7	4	4
九	州	大	5	5	2
九	州	工	6	4	4
福	岡	教	5	4	4
熊	本	大	11	15	10
鹿	児	島	100	112	125
国	立	大	160	169	198
大	阪	公	1	1	2
下	関	市	4	11	3
北	九	州	2	6	5
長	崎	県	4	1	5
熊	本	県	3	4	4
公	立	大	30	41	30

蛸壺やはかなき夢を夏の月

リアルということを考える。見えているものだけが現実ではない。悲惨は突然スクリーンを食い破って出てくる。目に映るものしか見ない者はあつという間に現実に飲み込まれる。そんなことを考える。

蛸壺やはかなき夢を夏の月

夜

深い海

月の光を揺らす波

突然

電話のベルが鳴り響く

現実には言葉によって作られる。今ここしか見ない者は蛸である。夜の海の底から綱が真っ直ぐに伸びている。海の上には舟が浮かんでいる。月の光に照らされた伶俐な横顔の猟師が海の底を見据えている。それを波打ち際で親方が見ている。小舟が揺れる。親方の背を月が照らす。

今ある目の前のものごとは現実を構成する一部に過ぎない。君たちは遙か上空からこの世界を見なければならぬ。何によって。想像力によって。想像力の翼の強度が君たちの生の強度だ。君たちを追う者は、上空から君たちの行く先を想像する。君たちは更に上空に飛翔し追跡者の予見を裏切らなくてはならない。君たちは追跡者を追い越しさらなる高みへと上る。そのために生きてきたのだから。

想像力とは何か。言葉である。想像力は言葉によって現実のものとなる。例えば数学も言葉である。数学は抽象的で現実とは別物だろうか。そうではあるまい。そこに確かに存在しているではないか。そして世界の秘密を教えてくれるではないか。他の学問も同じだ。

勉強とは言葉を磨くことである。言葉を磨くこととは常に既成概念から逃れ続けることである。分節された世界の桎梏を解き、再び君が分節する。そこに新しい世界が生まれる。勉強とはそれによって常に新しい世界が開けていくことである。それはわくわくする体験であるはずなのだ。

受験勉強は本当の勉強の底深い喜びを体験する絶好の機会である。覚悟を決め真正面から自分に向き合い、それぞれの教科に取り組めば、世界はその魅力的な相貌を余すところなく開陳してくれるだろう。恐れずに高く飛翔し俯瞰する目を手に入れよう。見えないものを見ることができるようになろう。本当の学問を究めるための門は君が開くのを待っている。